



# 希望 光 明日

学校だより 令和6年11月5日

校長 大澤由美子

[ 学校教育目標 ]

心豊かな生徒

意欲的に学ぶ生徒

たくましく生きる生徒

## だいちさんしょう 「大地讃頌」

10月29日に開催した合唱祭では、どの学年、どのクラスからも、仲間と共に、自分たちならではの合唱を創り上げようとする真剣な思いが伝わってきました。生徒たちの心と力を感じ、素晴らしい合唱祭を創り上げてくれた生徒たちの頑張りに感動しました。特に、最上級生としての誇りを持って歌い上げた3年生の合唱は「見事」の一言でした。「3年生はすごい」と、1、2年生にとってもこれまで以上に憧れの存在となったことでしょう。コロナ禍で活動が制限されていた数年前が嘘のように、練習の過程も美しい歌声が校内に響き、思い切り何かができる喜びを改めて感じました。

本年度は課題曲をなくして各クラスの自由曲と学年合唱というプログラムでした。学年合唱は1年生から3年生まで「大地讃頌」。同じ曲ですが、1年生は二部合唱、2年生は四部合唱、3年生はアカペラで始まる四部合唱と、学年が上がるにつれて難易度が上がる構成です。客席側を向いて学年全員で歌う「大地讃頌」はどの学年もとても素晴らしく、荘厳で迫力ある合唱に心が震えました。

この「大地讃頌」は「混声合唱とオーケストラのためのカンタータ『土の歌』』という7楽章からなる曲の第7楽章にあたります。第1楽章「農夫と土」から始まり、第6楽章「地上の祈り」までの流れがあって、最後の「大地讃頌」につながっています。全部を知ると、より「大地讃頌」を理解することができます。途中の楽章では戦争のことが出てきます。そして、美しく静かな大地、平和な大地を讃える「大地讃頌」で終わります。「土の歌」を最初から最後まで通して聴くと、命の源である大地を敬い感謝すること、その大地を人間の愚かな行動で汚してはならないこと、だから平和を守らなければならないこと等を強く思います。今も世界で紛争が続いています。平和な世の中をつくること、平和に感謝して日々を大切にすることを、合唱祭閉会式での力強く素晴らしい全校合唱「大地讃頌」の感動とともに思いました。

### 「大地讃頌」

母なる大地の ふところに  
我ら人の子の 喜びはある  
大地を愛せよ 大地に生きる  
人の子ら その立つ土に感謝せよ

平和な大地を 静かな大地を  
大地を褒めよ 讃えよ土を  
恩寵の豊かな大地 我ら人の子の  
大地を褒めよ 讃えよ土を  
母なる大地を 母なる大地を  
讃えよ 褒めよ 讃えよ土を  
母なる大地を ああ  
讃えよ大地を ああ